

▲△▲秀麗富嶽十二景を歩く▲△▲

F Y

第九回 岩殿山 634m

◎期日：2018年 12月16日（日）

◎メンバー：FY (L)、SS、SM、I、N、FJ、FR、T、AKT、AKZ、SK、KW、KN

今回は四番の「岩殿山」634m。

昨年12月に「岩殿山」を登る予定でしたが、10月の大雨の土砂崩れのため全てのルートが通行不能になり、残念ながら登ることが出来ませんでした。今年は登山道もオープンしました。

本日は晴天。JR 大月駅に13人が集合します。川崎さんは背中にウクレレを担ぎ、既にルンルン気分です。大月駅から中央線の踏切を渡り、北側に聳える大きな一枚岩の山を目ざします。車道を越え、横断歩道を渡り、取り付きまで約20分。ここから登り始めます。見た目、大きな一枚岩ですが取り付くと、道がしっかりと付き、快適な歩きです。美事な礫岩です。10時。山頂着。



ピンクや紅が目にも痛いほどの輝きでした。稚児落としの手前の登山道が崩壊していたため東側にトラバース用の道が付けられていました。大きな岩の下を巻くように、固定ロープが張ってあります。けっこうな巻き道です。暫く歩くと本来の下山道に合流します。

この後、浜野屋旅館でシリウス山岳会の忘年会。この一年の山行を語って頂きました。「胡麻豆腐」「白子の天ぷら」が美味し。暖かい豚しゃぶ鍋が腹に染みます。仕上げにほうとうを入れていただきます。参加された皆さん。どうもありがとうございました。

《記録》

12月16日（日）9：10 JR 大月駅—岩殿山山頂 10：00—天神山—稚児落とし 12：00—
—JR 大月駅浜野屋旅館着 12：40（忘年会）—JR 大月駅 15：00 解散

第十回 九鬼山 970m（山梨100名山）

◎期日：2018年 12月29日（日）

◎メンバー：FF (L)、SM、N、T

2018年も押し詰まってきました。あと3日で今年も終わりです。今回は十番の「九鬼山」970m。本日は晴天。JR 大月駅に4人が集合します。年末なので登山客も少ないのかなと思いつつ、富士急線に乗ります。空いていますが、年末なのに外国人が70%位乗っています。皆さん冬の富士山を観に行く観光客なのでしょう。本日はアジアの方が多いです。ターバンを巻いた方や、ベトナムの家族の方々もいます。

私たちは禾生駅（かせい）で下ります。駅の向こうには三つ峠が見えます。暫く国道139号「富士道」（ふじみち）を歩きます。この道は江戸時代に富士講の方々が富士山に登るため大月から富士吉田まで歩いた道です。富士吉田までまっすぐにつながっている道です。今は舗装道路となり車も多いですが、私たちはこの道を富士山と反対方面に約20分歩きます。

暫く行くと、水路橋が見えて来ます。立派な煉瓦作りの橋が菅野川（桂川）の上にかかっています。

1907年に発電用水を送るために作られた橋です。もう110年も経っているのですが今でも水がとうとうと流れています。1997年に国の登録有形文化財に指定されたそうです。その先にリニアモーターの実験道が見えて来ます。九鬼山の真下をリニアが通っているのです。

愛宕神社経由の分かれ道を左に上り始めます。11時。山頂着。富士山は美事。しかし風が冷たいので早々と写真を撮り、下山します。下りは倒木が多い道です。予定より早く到着。3時間30分の快適ハイクでした。

《記録》

12月29日(土) 9:00 JR大月駅一禾生駅9:15—11:00九鬼山山頂(昼食)
11:40発—12:40禾生駅着—13:30JR大月駅着14:00解散。

第十一回 本社ヶ丸1631m・清八山1593m

◎期日：2019年 11月17日(日) 晴天。

◎メンバー：FY(L)、SM、N、I、K

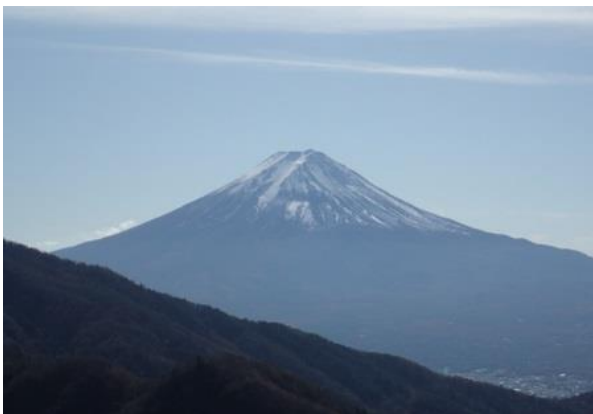
今回は11回目。私が正月に怪我をしてしまい、やっとリハビリも終了しました。約1年ぶりの富嶽十二景の再開です。

今年の10月は毎週のように台風が来ました。10月12日の台風19号は関東・東北に甚大な被害をもたらしました。高尾山では登山道が殆ど崩落しました。奥多摩、五日市の「つるつる温泉」に行く道も崩落。岩殿山も再び登山道が決壊しました。多摩川の二子玉川も決壊しました。武蔵小杉のタワーマンションも地下の電気設備部分が浸水し約一ヶ月間エレベーターが動かないという状況でした。多摩川にかかる「日野橋」も損壊し、不通。阿武隈川や千曲川も決壊し多くの方々が浸水被害を受けました。なので、11月2日に今回の登山道を実踏し、道の状況を確認してから本日を迎えました。

登山道はほぼ良好でした。一カ所橋が流されていましたが、水量が少なかったので徒渉せずに川を渡れました。本日は大月集合。タクシーで東山梨変電所まで行きます。ここが登山口。9時30分に登りはじめます。

ひたすらの登り道。紅葉も見えてきます。清八山に到着すると、三ッ峠の向こうに富士山が展望できました。美事です。更に本社ヶ丸に向かいます。アップダウンが激しく、なかなか山頂に着きません。悩んだ末、やっと山頂に着きました。

山頂からの富士山の展望は素晴らしかったのですが山頂が狭いので、5分ほど下りた所の広いテラスでゆっくりと豪華な富士山を眺めながら昼食を頂きました。



《記録》

11月17日(日) 9:02 JR大月駅→タクシーで東山梨変電所→9:30登山口→
11:00清八峠着清八山→12:00本社ヶ丸着(昼食)→13:00清八峠着→
14:20東山梨変電所からタクシーJR大月駅15:00解散

第十二回 奈良倉山1349m

◎期日：2019年 12月1日(日) 晴天。

◎メンバー：FY(L)、SS、I、K、T

いよいよ最終回。今回は奈良倉山です。

ここは奥深い山です。山梨県と東京都の狭間にある山です。三頭山に近く、この日はクラブツーリズムの客が20人が同じバスでした。約1時間バスに揺られ鶴峠で下車します。

先ほどの三頭山のグループは私たちと反対側に向かいます。私たちはここから奈良倉山までのなだらかな道を登ります。この道はトレランのコースになっているようです。幾つか、レース用の道標が貼り付けられています。山頂近くに残雪が少し残っています。なだらかな広い樹林帯の中に山頂があります。

富士山はここからは見えません。富士山の方向に樹林を切り倒した展望スペースがあるのです。ススキが生い茂り、その先に袴を穿いたような美事な富士山が聳えていました。風が強いので日向で昼食を頂きます。

ここから左に大菩薩の山々を眺めながら松姫峠1250mまで歩きます。心地よい道です。松姫峠には立派なトイレもあり、駐車スペースもあります。ここから一日一本しかない「小菅の湯」行バスが出ているので、それに乗ります。今回は楽々ハイクです。この後、「小菅の湯」にどっぷりと浸かり、蕎麦を喰い、反省会をしました。

それにしても2017年12月17日に始まったこの秀麗富岳十二景シリーズも今回をもって終了です。冬の富士山の展望をたっぷりと楽しめました。2年間にわたり、参加された多くの方々、どうもありがとうございました。



《記録》

12月1日(日) 8:32 JR上野原駅からバス→9:30鶴峠下車・登山口→
11:15奈良倉山着(昼食)→12:35松姫峠着13:15発のバス→
13:40小菅の湯着→15:23小菅の湯発のバス→16:40JR上野原駅着 解散

(了)